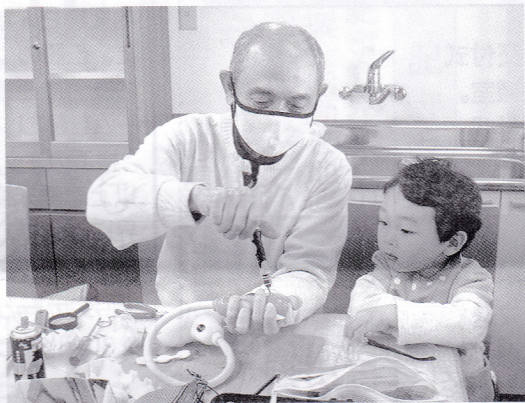


# やまて小児科で周南おもちゃ病院 心配そうな子供が笑顔に



車輪が回らず、分解して調べてみると、駆動モーターの軸がずれていたのが原因。修理して動くようになる。男の子が「ありがとうございました」とお礼を述べ、ドクターも「また調子が悪くなったら持ってきてね」と声をかけた。

スイッチ部分の接触が悪かったシャワーのおもちゃを持ち込んだ親子は、無事に電源が入るようになる。心配そうに見ていた子供も笑顔に。お母さんが「良かったね」と話していた。

原因が分からず、しっかりと検査するため入院治療になるおもちゃもあった。

故障したおもちゃをボランティアのドクターが修理する、周南おもちゃ病院が24日、浅江一丁目のやまて小児科・アレルギー科2階多目的ホールで行われた。

今年はコロナ禍で7月を中止。ドクターに直接、修理してほしいという依頼があったそうだ。

尾崎佳正さん（上島田九丁目）ら7人のドクターがおもちゃを修理。写真。男の子が持参したラジコンカーは、モーターは回るが、

やまて小児科では1、7、10月の年3回定期開院しているが、